

農業祭



▲展示場

年々盛り上がる農業祭は、十一月十八日(日)町民会館でにぎやかに行われました。
青空市場では、新鮮な野菜が売られ、アツという間に売り切れていました。
今年の品評会の出品点数は五百六十六点、いずれも優劣つけがたい秀作ぞろいでした。出品物は、一品一品入念に審査され、次の人が特別賞に輝きました。

- ◎町長賞
米(アキツホ) 仏田 憲吾 初神
白菜 世良 一誠 出来
大根 坊田 利美 川角
サツマイモ 荒谷 弘 萩原
柿 中井 博司 萩原
◎組合長賞
ホウレン草 台沖 功 平谷
玉ねぎ 仏田 憲吾 初神
里いも 立本スマ子 新宮
花(ストック) 台信 正基 初神
キュウイ 佐々木信行 川角



▲展示場

ミニギャラリー

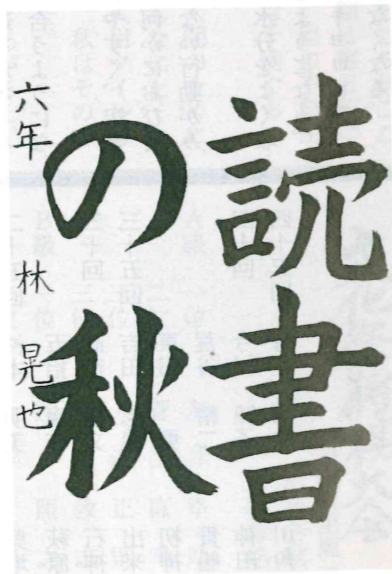
(敬称略)

▼熊野第二小学校3年 下瀬清歌



〔評〕大胆なタッチで、のびのびと書いています。色も変化があり、どっしりとした花びらのつりあいもよくとれたよい作品です。

▼熊野第二小学校6年 林晃也



〔評〕四文字のつりあいもよくとれており、ていねいに形よく書いています。線質にもはりがあり、すっきりとしたよい作品です。

山梨県で墨書のシンポジウム 熊野から筆組合参加

山梨県身延町で十月二十一日ふるさととの地場産業再発見シンポジウムが開催されました。筆産業代表として、本町の尺田徳太郎さん(熊野筆事業協同組合専務)が招かれ、「我が産地を語る」と題して講演されました。会場内では熊野筆の即売もあり、ふで娘も活躍し盛会でした。

ようこそ墨書のふるさとへ
ふるさととの地場産業再発見シンポジウム



▼シンポジウム風景

みんなのページ



このページは、町民のかたがたに登場していただいて、皆さんの活躍を紹介しています。
作品や行事、意見などをどしどしお寄せ下さい。お待ちしております。
なお、詳しいことは、企画創生課でお尋ね下さい。(☎854-1121)



中富ヒロ子さん
(48歳 石神)

第二十六回全国身体障害者スポーツ大会が十一月三・四日、福岡市で開催され、中富さんが二種目に出場し金・銀メダルを獲得されました。

は、生きていく勇氣と自信を持つために開催され、同じ障害をもつ人との交流の場でもあります。私も、多くの友人ができました。一人でも多くの人が参加できるようにですね。
☆これから挑戦したいスポーツはありますか。
卓球や水泳など、是非やってみたいですね。
町でも、障害をもつ人みんなが

積極的に集まって交流できるような、場所や機会が多くあるといいし、その場としての障害センターなどが欲しいですね。
○この大会は、生涯で一度しか出場できないそうです。その一度のチャンスで見事金・銀メダルを獲得した中富さん。本当におめでとうございました。

☆種目は何に出場されましたか。

六十メートル走(金メダル)とハンドボール投げ(銀メダル)です。試合前は、ハンドボールはなんとかいけるかなあと考えていましたが、六十メートル走ではメダルをとれるなんて思ってもいませんでした。
☆大会に参加して何か不便だと感じたことはありましたか。
競技場と練習場が離れていたことに加えて、競技場には階段が多くて疲れてしまいました。
☆大会に出場しての感想は。
入場式、ろう学校の生徒の鼓笛隊は、単純なメロディーだったけどとても感動的でした。この大会

くまの歌壇

熊野短歌同好会

病葉の柿の落葉は干からびて宙を舞うあり地に這うもあり
亡き母の帯を結べばかすかなるぬくもりつたう虫干しの今日
刈田続く熊野路の秋暮れ早しハンドルにぎり家路を急ぐ
「見て」という孫の落書ふり向けば首あげし亀のやさしき眼
遠近のいざり火浮ぶ半月の浜風吹きて匂ふ潮の香
任を終え一年が来る霜月に庇に下る風鈴の音きく
数知れぬ熱き言葉なぐり書き短歌詠めぬまノートをとじる
み佛にいだかれ逝きし法の友在りし日偲び今日七七忌
悲しみのきわみにあらむ母死すと友の電話の細くかすれ
秋の陽のまだ強ければ夏帽子リボンゆれつつ丘の道ゆく
久しぶり吾娘と腕組み街ゆけば映る影ぼろうし我が背と並ぶ
吾が双掌青浮く静脈いとしみつまぎれもあらぬ農の証しの
八十歳を祝ぎしれる子らのバラの花うけつつわれは面映ゆく居る
露じめる練瓦の歩道ころがれる落葉愛しも秋深みゆく
秋篠の技芸天像拝しゆく平城廃都のはずれの里に

- 坊田 春美
久保原 しずえ
渡辺 良江
天野 弥生
末信 アイコ
林 テル子
高松 勝子
寺田 さわえ
中馬 淳子
宮馬 弘美
山新 綾乃
大瀬戸 綾乃
前野 はるみ
土屋 知恵子
武内 由子